

久留米大学

御井図書館ニュース

No. 56 2004年9月1日発行

「御井図書（空）館」を居場所に

大学院心理学研究科長 佐藤 静一

今回、「御井図書館」ニュースの巻頭言を書くようにとの依頼を受けて、改めて、自分の学生・院生及び助手の時代から、その後、三十数年間勤務した前任校での大学図書館との関わりについて振り返ってみた。私の場合は、大学のいわゆる（中央）図書館というよりも、その分館・分室である学部の図書館（院生・助手の頃）や学科の図書室（前任校時代）をもっぱら利用してきた。分館・分室が存在することのメリットとしては、専門の学術雑誌や図書、資料等が、（中央）図書館から同じ研究棟の一角（室）に移管（貸出）されるため、いわば研究室に居ながらにして利用出来たことである。特に、次々に発行される、国内外の約40種類もの学術雑誌（関連領域のものを含む）が、（中央）図書館での整理・登録が済み次第届けられるため、その都度、関連する最新の研究論文に目を通すことができて有り難かった。このように、大学図書館の主な利用先が、分館・分室にあったこともあって、私の大学図書館との関係は、基本的には、学内図書館に所蔵されている専門の図書や学術雑誌・資料といった‘ソフト’面の活用にあったといえる。そのため、‘ハード’面を含めた、大学の（中央）図書館それ自体のあるべき姿などについてはそれほど考えることもなかった。

しかし、四年前、本学に勤務するようになってからは、いわゆる大学の（中央）図書館に当る「御井図書館」をもっぱら利用するようになった。そして今日、「御井図書館」が‘ソフト’と‘ハード’の両面において大学図書館に相応しい機能と雰囲気をもった図書館であることを実感するようになった。まず‘ソフト’面についていえば、「御井図書館」には、研究・教育に必要な学術雑誌、図書、資料等が十分に揃っており、かつ新しい図書館システム（オンライン閲覧目録（OPAC）、インターネット、CD-ROM用端末等）が導入される等、私どもの期待に充分応えるものとなっている。一方、‘ハード’の面についていえば、「御井図書館」の一、二階（面積、共に約1,300m²で、1、2階吹抜）に設けられた複数の閲覧室、閲覧コーナーあるいは自由学習室等々が、それぞれ落ち着いた雰囲気の、知的「図書（空）館」となっていることである。というのも、分館・分室では得られない広々とした空間に設けられた、開架書架や、雑誌コーナー、あるいはレファレンスコーナー等の各書架によって区切られた適度の広さ（20席前後から60席）の複数の空間（一、二階合せて15、6室）が、それぞれ閲覧室や、閲覧コーナーあるいは自由学習室等に当てられているからである。この絶妙な空間配置のもたらす、適度に密閉／開放された「図書（空）館」こそ、本学で学ぶ多くの人たちの心の居場所になって欲しいものである。



『子供たちのこころの健康について』

大学院比較文化研究科 大 西 良

先日のある新聞記事に「小学校高学年の男児の10%、女児の13.5%にうつ病に進行する可能性のある抑うつ傾向が見られる」とあった。10年ほど前までは、専門家の間では思春期の子供たちはうつ病にはならないと考えられていたが、最近では子供たちもうつ病になると言われている。実際に小学校低学年でもうつ病が急増しているという報告がある。子供たちのうつ病の特徴として、大人のようにはつきりとした自覚症状がなく、「お腹が痛い」「頭が痛い」などの身体的な訴えが多いといわれている。

さて、このような子供たちの現状を踏まえて、2004年6月に私たちの研究グループが実施した、300名余りの中学生対象の精神健康実態調査の結果を紹介したい。この調査では、「抑うつ傾向」「疲労傾向」の2つの健康状態に焦点を当てて行った。

その結果、何らかのサポートを必要とする「抑うつ傾向」生徒は、男子で16.3%、女子で18.7%であった。また同様に「疲労傾向」では、男子で25.2%、女子の17.8%であった（図-1）。さらに、これを学年別に見たところ、学年が進むにつれて（1年生<2年生<3年生）サポートの必要な生徒の割合が高くなっている。「抑うつ傾向」、「疲労傾向」のどちらとも、3年生は1年生の約2倍と高い割合になっている（図-2）。

今回の調査では、個別に面談をしていないために原因は明らかではないが、サポートの必要な生徒へのサポート体制づくりが急務であると感じている。

最後に、このような現状を真剣に受け止め、子供たちの心の訴え（サイン）を見逃さない学校環境や社会環境が必要とされているように思う。

図-1 男女別「抑うつ傾向」「疲労傾向」の割合

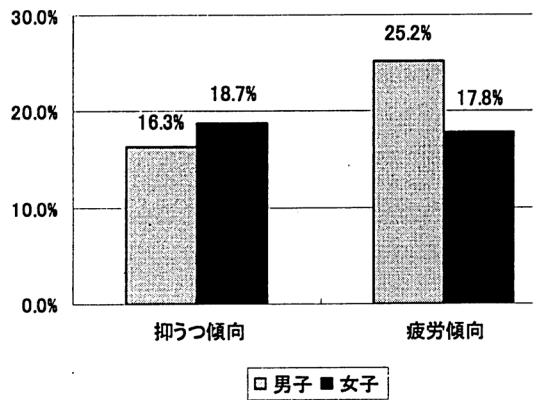
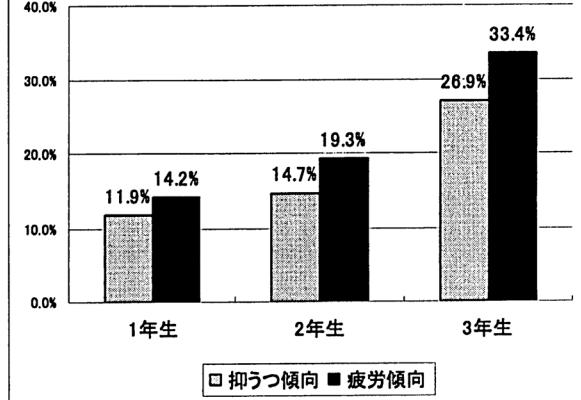


図-2 学年別の「抑うつ傾向」「疲労傾向」の割合



✿秋の夜長に文学賞受賞作品を読んでみませんか？✿

第131回芥川龍之介賞の選考委員会が7月15日（木）に開かれ、モブ・ノリオ氏の「介護入門」が受賞作に決まりました。

同じく、第131回直木三十五賞の選考委員会も同日開かれ、候補作品の中から奥田英朗さんの「空中ブランコ」と熊谷達也さんの「邂逅の森」が受賞作に決まりました。

前々回の直木賞を受賞した、江國香織さんの「号泣する準備はできていた」や、前回の芥川賞を受賞した、金原ひとみさんの「蛇にピアス」、綿矢りささんの「蹴りたい背中」などは記憶に新しいと思います。

さて、芥川賞とは周知のとおり、芥川龍之介の名を記念して、昭和10年に制定された文学賞です。授賞は年2回で、新聞や雑誌などに発表された純文学短編作品のうち、最も優秀な作品に授けられます。

また、直木賞は直木三十五の名を記念して、やはり昭和10年に制定されました。各新聞や雑誌、単行本として発表された短編および長編の大衆文芸作品のうち、最も優秀な作品に年2回授賞されます。

季節はちょうど読書の秋。勉強の合間に文学賞受賞作品を読んでみてはいかがですか？



✿ 開 館 時 間 の お 知 ら せ ✿

夏期休暇が終わり、開館時間が下記のとおりになります。

月曜日～金曜日 午前9時～午後9時

土曜日・日曜日 午前10時～午後6時

《閉館日》 祝祭日・お盆（8月15日）・年末年始（12月29日～1月3日）

「筑後文化資料室」開設へ

1928年創立の九州医学専門学校に起源を持つ久留米大学は、今年で創立76周年を迎えました。

御井キャンパスにおいては、商学部、法学部、文学部、経済学部と学部が増えていき、大学院比較文化研究科、心理学研究科が相次いで開設されました。

また、今年4月には法科大学院が加わり、来年4月開設を目指しビジネス研究科の準備も進んでおります。このように、御井キャンパスが文系の総合キャンパスとして発展を遂げることができましたのは、地域への貢献を掲げ、かつ実践している姿勢が支持された賜物と評価しております。それと同時に、筑後地域の文化拠点としての責任をますます受け止めているところであります。

そこで、更にその役割を果たすため、御井図書館に「筑後文化資料室」を設置することになりました。

目的は、筑後地域に散在する、価値ある文化資料を収集・整理・保存し展示・公開するとともに、周辺地域の同種施設とのネットワークを構築することにあります。

なお、ここでいう「筑後」とは行政単位としての筑後地方のみならず、久留米を中心とした筑後川流域および有明海文化圏を含む広い範囲を考えております。書籍、雑誌、古文書、地図などが対象ですが、これ以外でも文化資料として適当なものは全て含みます。

昨今、全国の市町村が次々と合併されています。これを機に貴重な資料が散逸するおそれがありますので、それらを公的施設が責任を持って保存にあたることが重要になります。

7月16日、御井図書館で記者会見を行い、本資料室のためにお手持ちの文献、資料などをご恵与賜りますようお願い申し上げました。おかげさまで徐々に貴重な資料を恵贈していただいております。

今後、資料の整理ができ次第、この図書館ニュースで隨時紹介していくたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先 久留米大学御井図書館「筑後文化資料室」

(責任者 文学部教授 狩野啓子)

〒839-8502 福岡県久留米市御井町1635

TEL 0942-44-4015

FAX 0942-43-0348

寄 贈 図 書 (学内関係者)

2004/05/01~2004/08/31受入分

寄贈者氏名	著 者	タ イ ト ル	出 版 社
大家 重夫	Peter Stone	Copyright law in the United Kingdom and the European Community	Athlone Press
大家 重夫	Jeremy Phillips, Alison Firth	Introduction to intellectual property law 3rd ed	Butterworths
大家 重夫	Edward W. Ploman and L. Clark Hamilton	Copyright: intellectual property in the information age	Routledge & Kegan Paul
大家 重夫	Hector L. MacQueen	Copyright, competition and industrial design	Aberdeen University Press
大家 重夫	Gerald Dworkin & Richard D. Taylor	Blackstone's guide to the copyright, designs and patents act 1988	Blackstone
大家 重夫	Donald F. Johnston	Copyright handbook	R.R. Bowker Co.
大家 重夫	Paul Goldstein	Copyright, patent, trademark, and related state doctrines	Foundation Press
大家 重夫	Paul Goldstein	Copyright: principles, law and practice	Little, Brown
大家 重夫	Robert Dean	The law of trade secrets	Law Book Co.
大家 重夫	Kern Alexander, M. David Alexander	American public school law 3rd ed	West Pub. Co.
大家 重夫	大家 重夫	著作権を確立した人々 第2版	成文堂
大家 重夫	蕭 雄淋	著作権法論 2版	五南圖書出版
大家 重夫	IT企業法務研究所 IT企業法務編集委員会	IT企業法務 2003	IMS 出版
大家 重夫	全日本シーエム放送連盟 著作権委員会	CM著作権昨日・今日・明日	全日本シーエム放送連盟
大家 重夫	大家 重夫	著作権文献・資料目録 2002	著作権資料協会
大家 重夫	芹田幸子、小野たまき	無体財産権法文献目録	国際技術取引法研究所
大家 重夫	大家 重夫	ニッポン著作権物語：プラーゲ博士の摘発録 改訂版	青山社
狩野 啓子	Robert Herman	Anciens outils de la vigne et de la tonnellerie	Glénat
岸川 善光	岸川 善光	ベンチャー・ビジネス要論	同文館出版
児玉 昌己	児玉 昌己	欧州議会と欧州統合：EUにおける議会制民主主義の形成と展開	成文堂
圖子 善信	福岡国税局関税会連合会 青年部	オヤジが語る消費税：税制ちゃ、どげんなつとうとや？	大蔵財務協会税のしるべ総局
駄田井 正	Vern Terpstra	International marketing 2d ed Holt-Saunders	Dryden Press
張 国興	三菱総合研究所国際動向 分析センター	中国情報ハンドブック 1992-1994年版、1996-1998年版、2000-2001年版	蒼蒼社
張 国興	経済企画庁調整局	APEC 経済展望 1996-1998	大蔵省印刷局
張 国興	経済部中小企業處	中小企業白皮書 中華民国86年	経済部
張 国興	経済部中小企業處	中小企業白皮書 中華民国88年	経済部
張 国興	中国研究所	中国年鑑 1989年版	大修館書店
張 国興	中国研究所	現代中国年表：1949年～1988年	大修館書店
張 国興	経済企画庁調査局	アジア経済 1995-1999	大蔵省印刷局
張 国興	経済企画庁調査局	APEC 経済展望 1995-1997	大蔵省印刷局
張 国興	経済企画庁調査局	APEC貿易自由化の経済効果	大蔵省印刷局
東 孝行	東 孝行	公害訴訟の理論と実務	有信堂
前田 俊文	前田 俊文	プーフェンドルフの政治思想：比較思想史的研究	成文堂
森本 芳樹	森本 芳樹	比較史の道：ヨーロッパ中世から広い世界へ	創文社

※敬称略50音順

図書館利用状況（2004年度）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
開館日数		27	27	30	31	28	143
入館者数	前年同期比	3,156	-1,972	4,355	6,565	-47	12,057
	学内者	23,495	25,976	31,416	43,912	11,267	136,066
	前年同期比	-49	-90	15	-29	-39	-192
	その他学外者	152	143	278	184	203	960
地域住民登録者数	前年同期比	10	-23	2	1	1	-9
		56	13	28	21	20	138
貸出冊数 (学生)	前年同期比	519	200	474	-156	-18	1,019
	全 体	1,833	2,517	2,999	3,975	1,154	12,478
	前年同期比	225	210	262	152	27	876
	内、夜間	425	641	818	982	78	2,944
	前年同期比	59	134	15	43	-40	211
	内、土、日曜	153	248	217	363	172	1,153
貸出冊数 (教職員)	前年同期比	145	76	69	-18	91	363
	全 体	320	279	308	259	234	1,400
	前年同期比	8	23	65	16	1	113
	内、夜間	50	70	96	70	3	289
	前年同期比	12	0	7	18	-6	31
	内、土、日曜	23	8	19	47	9	106
貸出冊数 (その他学外者)	前年同期比	-29	-109	-48	-18	-30	-234
	全 体	87	99	137	37	121	481
	前年同期比	1	-11	15	-1	18	22
	内、夜間	15	33	55	4	22	129
	前年同期比	-21	-24	-46	-8	11	-88
	内、土、日曜	15	39	26	18	43	141
AVライブラリー 利用件数	前年同期比	-2	3	33	-7	-4	23
	学 生	17	32	47	12	13	121
	前年同期比	5	30	14	8	5	62
	教 職 員	9	43	28	11	7	98
	前年同期比	-4	4	4	2	1	7
	その他学外者	2	4	4	2	1	13
相互利用 (文献複写) 申込件数	前年同期比	6	20	78	74	166	344
	学 生	78	97	208	189	227	799
	前年同期比	3	6	-50	19	-38	-60
	教 職 員	60	85	38	89	50	322
	前年同期比	-2	0	0	0	1	-1
	その他学外者	0	0	0	0	1	1
相互利用 (現物貸借) 申込件数	前年同期比	0	2	35	23	2	62
	学 生	5	15	39	29	5	93
	前年同期比	1	4	-1	3	10	17
	教 職 員	9	8	8	17	20	62
	前年同期比	0	0	0	0	0	0
	その他学外者	0	0	0	0	0	0

〈貸出冊数についての注記〉

- 教職員の貸出には、専任教員の研究室貸出分を含まない。
- “夜間”とは、平日の17：00～21：00の夜間開館時間を指す。
*なお、4月1日～4月12日、8月2日～9月17日、2月1日～3月31日の期間は夜間開館を行っていない。
- 地域住民への貸出は、7月6日～7月30日、1月4日～1月28日の期間は停止している。

編集・発行 久留米大学御井図書館
 〒839-8502 久留米市御井町1635
 TEL (0942) 44-4015
 FAX (0942) 43-0348
<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/>